

難民支援のためのチャリティーコンサート



水谷川 優子 (チェロ)
Yuko Miyagawa



マーク・ゴトーニ (ヴァイオリン)
Mark Gothoni

コダーイ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 作品7
ヘンデル - ハルヴォルセン：パッサカリア
ローラ：ヴァイオリンとチェロのためのソナタ 他

JKodaly: Duo for Violin & Cello Op.7
Haendel-Halvorsen: Passacaglia
Rolla: Duo for Violin & Cello etc.

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

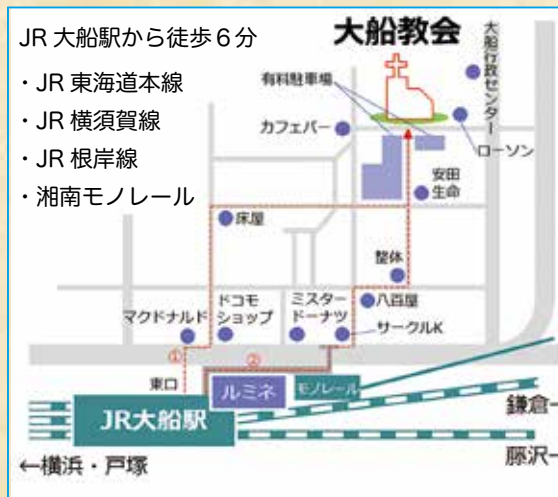
2018年 **9月16日** (日) 15:00
カトリック大船教会・聖堂

14:30 開場 17:00 終演予定

鎌倉市大船 2-1-34 Tel 0467-46-2582

- * 全席自由 (前売 3,000 円、学生 2,000 円、当日 3,500 円)
- * チケットの入手方法：メールまたは、お電話にてご連絡ください。
E-mail : info@refugee-tomo.org Tel 080-5466-1519

主催：なんみん共の会 (ASR)
後援：聖心侍女修道会 玉縄修道院 / 雪ノ下修道院
清泉女子大学ボランティアラーニングセンター
清泉女学院中学高等学校
イエスのカリタス修道女会 大船修道院
協力：Enne 倶楽部



※小さなお子様をお連れのお客様は周りの方の迷惑となりませんようご配慮ください。

チャリティーコンサートの収益は、難民、難民申請者の就学支援金、緊急支援金等に使われます。



マーク・ゴトニー (ヴァイオリン)
Mark Gothoni

フィンランドを代表するバイオリニストの1人であるゴトニーは16歳でA.チュマチェンコに才能を見出され単身ミュンヘンに移住、その後S.アシュケナーズにシカゴに招かれ、またザルツブルグにおいてもS.ヴェーグのもとで研鑽を積んだ。21歳でブラームス国際コンクールに上位入賞しデビューリサイタルをおこなって以来、ヨーロッパをはじめとして北米、南米、アジア、アフリカなど世界各国でソリスト、室内楽奏者、またミュンヘン室内管弦楽団、チューリッヒ室内楽団、ヨーロピアン室内管弦楽団(音楽監督兼任)のコンサートマスターとしても活躍。

母国フィンランドでは1998～2011年ラウマ音楽祭総監督、2001年よりサボンリンナ・ミュージック・アカデミーの室内楽部門監督として様々なアプローチでクラシック音楽の普及につとめていた。2004年より「オルフェウス弦楽四重奏団」の第1ヴァイオリン奏者に就任、同時期に「モーツァルト・ピアノ四重奏団」のメンバーとなり、ドイツMDG社と専属契約を結んで多数

のCDをリリース。それぞれユニークなレパートリーと高いクオリティのアンサンブルとして各メディアの注目を集め、ワールドワイドな演奏活動を行っている。今までにシュレースヴィヒ＝ホルシュタインやカザルス・フェスティバル、クフモといった著名な音楽祭をはじめとして、ベルリン・フィルハーモニーホール、アムステルダム・コンサートヘボウ、ロンドンのウィグモアホール、バルセロナのパラウ・デ・ラ・ムシカ、ミュンヘンのヘラクレスザール、NYのリンカーンセンターといった各国の主要なコンサートシリーズやホールに招聘され絶賛を博す。国際的な演奏活動の傍ら、ゴトニーは今までにモントリオールのマギル大学、ヘルシンキのシペリウス音楽院、プレーメン音楽大学、ウトレヒト音楽大学などで客員教授をつとめ、現在はベルリン大学のヴァイオリン科主任教授として後身の指導にも情熱を傾けている。

使用楽器はベルリン芸術大学より
貸与されている1709年製のAntonio
Stradivari。



水谷川 優子 (チェロ)
Yuko Miyagawa

指揮者で日本の交響楽団の祖であった祖父・近衛秀麿の遺志により、6歳からチェロを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科卒業、同ディプロマコースを経て、ザルツブルク・モーツァルトウム音楽院首席卒業、同大学院修士修了マギスタの称号を得る。

ローマのサンタ・チェチリア国立アカデミーのソリストコースにて研鑽を積みながら、ザルツブルク室内管弦楽団首席奏者、ザルツブルク・ソリスデンのメンバーとして活動を開始。いままでに勝田聡一、松波恵子、ハイディ・リチャウアー、故アルトゥーロ・ボヌッチ、室内楽を故ハンス・ライグラフ、メナム・プレスラー、ハーゲン管弦四重奏団の各氏に師事。

第6回東京国際室内楽コンクール優勝、斉藤秀雄賞、アサヒビール賞、イタリア・カラブリア芸術祭コンクール優勝、パロックザール賞ほか多数受賞。

最新ソノアルバム「CON ANIMA～魂をそえて」はレコード芸術誌で準特選盤、優秀録音に選出。ソロ演奏のほか「Ensemble Φ」「スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウ」「Trio SoLLa」「一山水(能管、ピアノ、チェロ)」のメンバーとしても精力的に活動。邦楽のアーティストとコラボレーションにも積極的に参加。

NHK第35回日本賞授賞式では皇太子ご夫妻のご列席の下で能管の一噌幸弘氏と記念演奏を行った。ユニークかつ多彩な活躍ぶりで注目され、メディアへの出演も多く「勇気づけ、包んでくれるような暖かい音色」(東京新聞)「心をノックするチェロ」(毎日新聞)と評されている。

現在は日本とドイツを拠点にヨーロッパ各地、エジプトなどからもソリスト、室内楽奏者として招聘を受け高い評価を得ている。

オフィシャル HP <http://yuko-miyagawa.com>

ブログ「水谷川優子のチェロ引き旅鳥日記」
<http://yuko-miyagawa.blog5.fc2.com>

難民の数が増え続けています。この数日間、さらに数千もの人々が避難を余儀なくされています。さまざまな国籍と宗教をもった何百万もの避難民の家族が、悲惨な過去を持ち、いやしがたい傷を負っています。彼らの隣人となり、彼らの恐れと将来への不安を共に分かち合い、その苦しみを和らげるために具体的な努力をしましょう。難民が受け入れられ、その尊厳が尊重されるために盛んに活動している人々と団体を主が支えてくださいますように。

イエスも難民であったことを考えましょう。イエスはいのちを守るために、ヨセフとマリアと共にエジプトに逃れなければなりません。難民の苦しみを知っておられるマリアがこれらの兄弟姉妹のそばにいてくださるよう祈りましょう。難民となった兄弟姉妹のためにマリアと共に祈りましょう。

教皇フランシスコ

なんみん共の会 (ASR) とは? ～難民の友に、難民と共に～

難民とは、人種、宗教、国籍、政治的意見、または特定の社会的集団に属するなどの理由で、自国にいと迫害を受けるか、あるいは迫害を受けるおそれがあるために他国に逃れた人々です。世界には、約6560万人 (UNHCR,2016) の難民がいます。

日本に助けを求めて来日する難民が急増しています。しかし、申請手続きには平均3年以上かかり、その間、日本政府からの支援は限定的です。難民申請中は、原則就労は認められていません。迫害から逃れてやっと辿り着いた日本で、生活に困窮し、不安、孤独な生活を余儀なくされている難民が多くいます。

地球市民の一員として、難民の友となり、難民と共に日本社会が一人でも多くの難民の希望の地となるように、難民に寄り添うために、この会が結成されました。多くの方のご参加、ご支援をお願い申し上げます。

(主な活動内容)

- ・ 難民との交流活動
- ・ 難民奨学金、就学支援金
- ・ 緊急支援金

なんみん共の会 (ASR) Association for Solidarity with Refugees

〒110-0005 東京都台東区上野 1-12-6 3F

E-mail: info@refugee-tomo.org URL: <http://refugee-tomo.org>

郵便振替口座: 00180-1-323863 ゆうちょ銀行: 019 店 当座 0323863